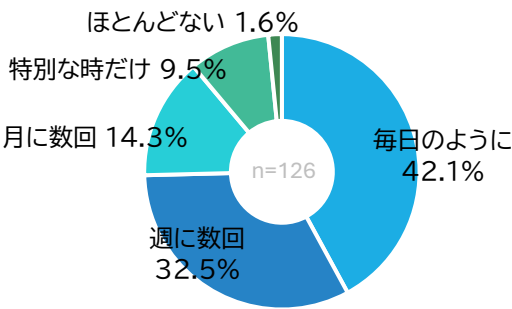
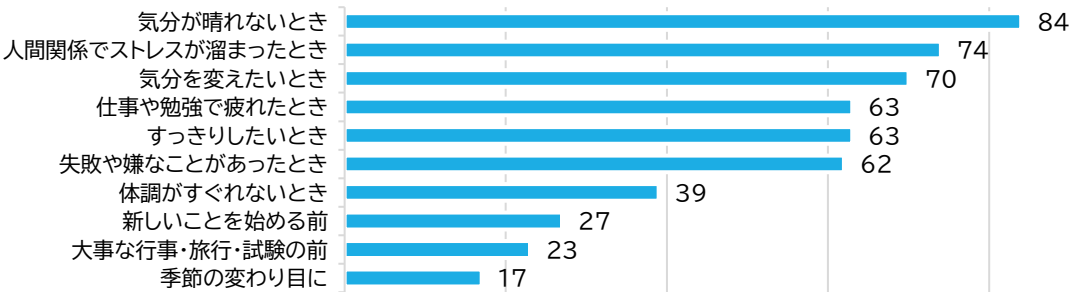


Q. 浄化したいと感じる頻度 ※単一回答



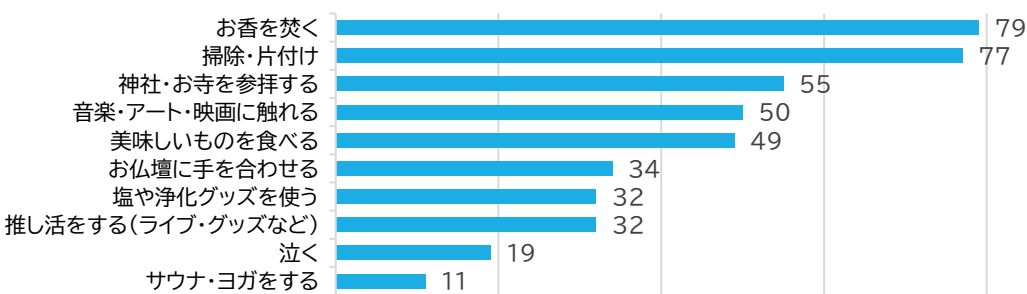
「毎日」や「週に数回」と回答した人が全体の74.6%を占め、ほとんどの人が定期的かつ高頻度で「浄化したい」と感じていることが分かる

Q. どんなときに“浄化したい”と感じますか ※複数回答



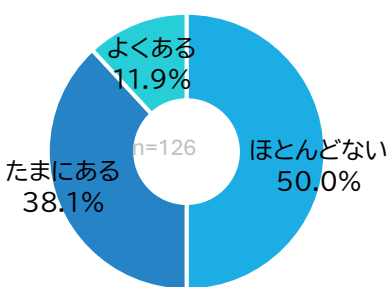
気分が晴れないときや人間関係のストレスなど、精神的負担を感じる場面で浄化を求める傾向が強い。浄化は心のリセット手段として機能し、節目や転換期にも活用されている。

Q. 浄化のためにしていること ※複数回答



お香や掃除など身近な行為で浄化を感じる人が多く、日常の中で心を整える実践的な浄化が定着している。また、推し活やアートも現代的な心の浄化として注目される。

Q. 日常会話やSNSで「浄化」「浄め」という言葉を使う頻度 ※単一回答



「たまにある」「よくある」と答えた層が半数を占め、“浄化”が一部で日常語化し、SNSなどで心を整えるセルフケアワードとして浸透し始めている。

調査結果から、“浄化”は多くの人にとって日常的な行為であり、気分の乱れやストレスを整えるための手段として定着している。お香や掃除など身近な行動が中心で、心身のリセットを目的とした生活習慣として広がっている。SNS上でも共感を得る言葉として使われており、“浄化”は宗教的というより、気持ちを切り替える前向きな行為ととらえる事ができる。